

2020年8月1日

登別市 市制施行 50周年



2020年、登別市が市制施行から半世紀という大きな節目を迎える年。国内では22年ぶりとなるオリンピック・パラリンピックが開催され、隣町・白老町には、民族共生象徴空間『ウポポイ』が開設される年でもあります。

市は、市制施行50周年を記念した事業を通して、市の歴史や文化を築き上げた先達への感謝を伝えるとともに、市の魅力を改めて認識し、将来のまちづくりの担い手を見いだし、多くの市民と共に歩みを進めていきたいと考えています。

そのためにも、まちの活力ともいえる市民活動や産業活動を活性化させ、自らが主体となってまちづくり活動に参画し、まちづくりに携わる楽しさを知ってもらおう『きっかけ』となるような記念事業の実施に向けて、昨年より準備

を本格化させ、多くの市民や団体を事業者と共に取り組みを進めていきます。

新たな年を迎えました。皆さんは、これからの1年をどのような過ごされますか。

市内で行われる記念事業に参加することで、まちづくり活動に参画することができるとは、この大きな節目をきっかけに、興味があってもその一歩が踏み出せなかったことに挑戦し新たな趣味をみつけたり、ボランティア活動に取り組んでみることもよいのではないのでしょうか。

また、これまで行ってきた市民活動に新たな趣向を加えてみることも考えてみませんか。

2020年が、次の50年に向けた始まりとなり、市民皆さんのさらなる活力が魅力あるまちにつながります。

これまでの周年事業

30周年 (2000年)



40周年 (2010年)

